上級編

ScreenBeam™ Pro -Business-

スクリーンビームプロ ビジネス

取扱説明書(上級編)

バージョン1.0

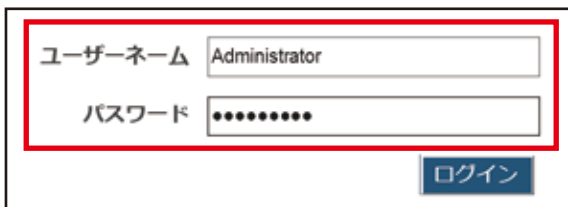
もくじ

本取扱説明書 (上級編) は、ネットワーク知識をお持ちの方向けに作成されています。

6. 高度な設定

本章は、スクリーンビームプロ・ビジネスの最新機能が設定できる管理画面の利用方法について説明します。この管理画面を利用することで、様々な機器設定や最新機能の対応をすることができます。

6.1. 管理画面へのログイン方法

管理画面を利用する際、Autonomousグループオーナー(AGO)の状態(有効/無効)により、ログイン方法が異なります。初期設定はAGOモードは有効に設定されています。

＊注：AGO(Autonomous Group Owner) モードとは、ワイヤレスネットワーク環境 を管理し、許可を受けた機器だけがネットワークに接続できるモードです。

6.1.1. Autonomous グループオーナー(AGO)モードが有効の場合 (初期設定)

1. Autonomous グループオーナー(AGO)モードが有効の場合には、送信機側のWebブラウザーで http://192.168.16.1 へアクセスすると管理画面にログインすることができます。送信機と受信機とをワイヤレスディスプレイで接続した後、送信機のWebブラウザーからURLへアクセスしてください。

＊注：http://192.168.16.1 はデフォルトの URL アドレスとなります。この URL アドレス は管理画面から変更することができます。詳しくは 5.3.20. にあるグループオーナーインテ ント設定を参照ください。AGO モードが停止中であれば、グループオーナーインテント機 能が使用できます。グループオーナーインテント機能とは、ネットワーク上にある機器 (送信機または受信機など) の中からグループオーナーを決める場合に利用します。

2. 下記のログイン画面が現れます。ユーザー名とパスワードを入力して、ログインしてください。※注

＊注：・初期設定では、ユーザーネームは”Administrator”、パスワードは”WiDi”となっています。ユーザー名とパスワードは、管理画面で変更することができます。詳細につきましては、5.3.2. ユーザー名とパスワードの変更をご覧ください。
・ユーザー名とパスワードはともに大文字と小文字を識別します。
・Autonomous グループオーナー (AGO) モードが有効の場合、受信機側の SSID は利用できません。

6.1.2. Autonomous グループオーナー(AGO)モードが無効の場合

AGOモードが無効の場合、機器を受信機の SSID に接続し、Webブラウザのアドレスバ ーから URLアドレス(初期設定では http://192.168.51.1)にアクセスする必要があります。＊注

＊注 : SSID ブロードキャストは有効の状態と無効の状態により、設定方法が異なります。

管理画面から、受信機の SSID 情報を [機器の接続を待っています。] の画面上に表示させ ることができます。詳細につきましては、“5.3.17. ネットワーク情報の表示” をご参照ください。

AGOモードが無効の場合、管理画面からグループオーナーインテントを設定することができます。以下は、グループオーナーインテントを受信機に設定する手順です。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. グループオーナーインテントのドロップダウンリストから、ご希望の値を選択してください。
＊注 : 値が大きいほど受信機が P2P 接続の際にグループオーナーになりやすいです。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

4. 送信機の Web ブラウザから URL アドレスにアクセスしてください。
(この例の場合 は、http://192.168.51.1)

＊注 : このURLアドレス自体は、管理画面から修正することができます。詳細について は、5.3.22. ワイヤレスネットワークパラメーターの設定をご覧ください。

6.1.2.1. SSID ブロードキャストが有効に設定された場合

以下の手順に従って、管理画面にログインしてください。

1. ワイヤレス対応の PC(もしくは WiFi 接続とウェブブラウザのあるその他機器)から受信機の SSID に接続してください。SSID は画面下部に[機器の接続を待っています]が表示されます。

＊注 : ネットワーク情報が表示されていない場合には、次の方法により受信機の SSID を WiFi 接続リスト上で確認することができます。受信機の SSID は“Actiontec- SBWD-xxxxxx”という形式で表示され、最後の四文字は受信機名の最後の四文字と 同一になります。

2. ネットワーク一覧のページを開くには、ワイヤレスネットワークのアイコンをクリックして、受信機の SSID を選択してください。

＊注 : SSID とパスワードは、管理画面で変更することができます。詳細につきましては、5.3.23. 受信機のワイヤレスネットワーク名 (SSID 名) の変更をご確認ください。

3. [ネットワークへ接続]のウィンドウが表示されますので、[セキュリティキー]欄にネットワークセキュリティキーを入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

＊注 : 初期設定ではネットワークセキュリティは“12345678”に設定されています。
＊注 : SSID とそのパスワードは、管理画面で変更することができます。詳細については、“5.3.23. 受信機のワイヤレスネットワーク名 (SSID 名) の変更”をご確認ください。

4. ウェブブラウザのアドレスバーから URL アドレスにアクセスしてください。
（この例では、http://192.168.51.1）

＊注：この URL アドレスは管理画面で変更することができます。詳細につきましては、5.3.22. ワイヤレスネットワークパラメーターの設定をご確認ください。

5. ログイン画面が表示されますので、ユーザー名欄にユーザー名を、パスワード欄にパスワードを入力して、[ログイン]ボタンをクリックしてください。

ユーザーネーム
パスワード
ログイン

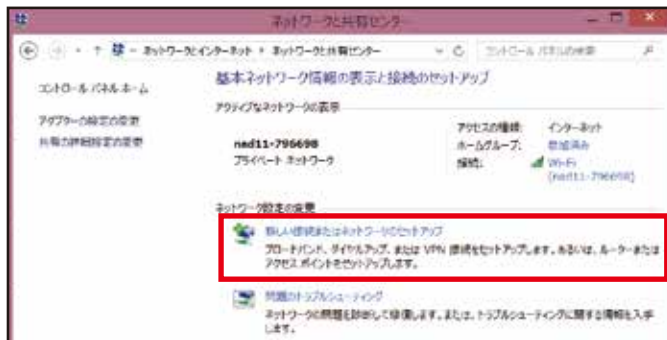
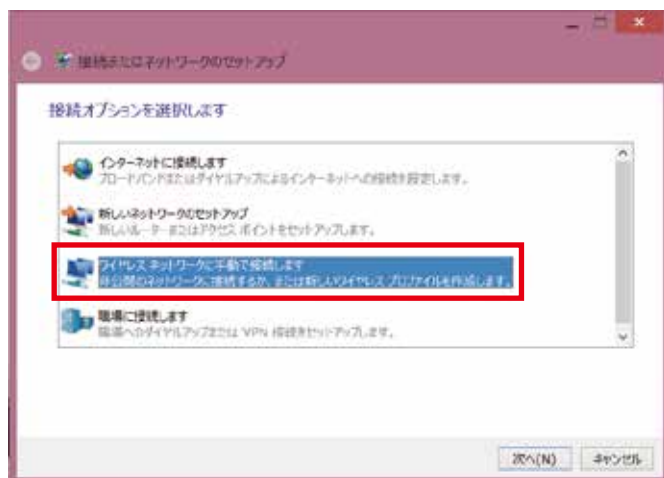
＊注：・初期設定では、ユーザーネームは”Administrator”、パスワードは”WiDi”となっています。ユーザー名とパスワードは、ローカルマネジメントウェブページで変更することができます。詳細につきましては、5.3.2. ユーザー名とパスワードの変更 をご参照ください。
・ユーザー名とパスワードはともに大文字と小文字を識別します。

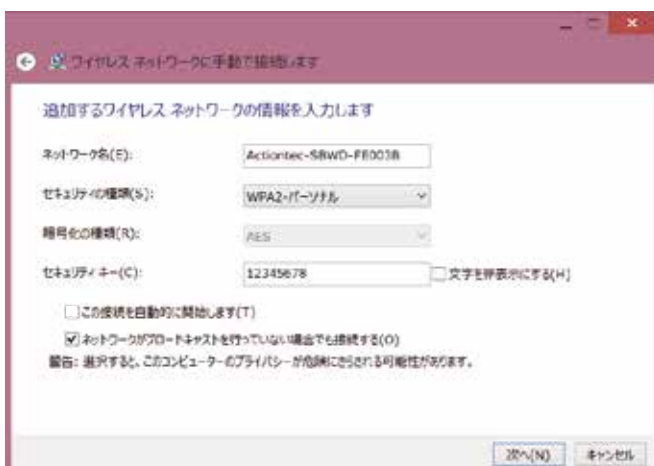
6.1.2.2. SSID ブロードキャストが無効に設定された場合

以下の手順に従って、管理画面にログインしてください。

1. [機器の接続を待っています。] 画面の下部に、受信機の SSID が表示されます。

2. 送信機となる PC のタスクバーに表示されている Wi-Fi ネットワークアイコンを右クリックして、[ネットワークと共有センターを開く]を選んでください。

3. [ネットワークと共有センター]のウィンドウが現れますので、[新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックしてください。

4. [接続またはネットワークのセットアップ]のウィンドウが現れますので、[ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選んでください。

5. [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]のウィンドウが現れますので、以下の情報を入力もしくは選択してください。

ネットワーク名: 接続先となる受信機(スクリーンビームプロ)の SSID
セキュリティタイプ: WPA2 Personal
暗号化タイプ: AES
セキュリティキー: 12345678(初期設定)

6. [ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックボックスを選択し、[次へ]を選択してください。

＊注 ：このワイヤレスネットワークが範囲内にあって、自動的に接続したい場合には、[この接続を自動的に開始します] のチェックボックスを選択してください。それ以外の場合には、このチェックボックスは選択しないでください。

7. 次の画面で受信機の SSID が正常に追加されていることが確認できましたら、[閉じる] をクリックしてください。

8. [この接続を自動的に開始します]を選択した場合には、データ送信元となる PC は自動的にSSIDに接続されます。接続されない場合には、タスクバーに表示されているネットワークのアイコンをクリックして、[ネットワーク]のページから、SSIDに接続してください。

9. PCのWeb ブラウザのアドレスバーに URL アドレスを入力してください。
(この場合 は、http://192.168.51.1)

10.管理画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]ボタンをクリックしてください。

＊注 :・初期設定では、ユーザーネームは”Administrator”、パスワードは”WiDi”となっています。ユーザー名とパスワードは、管理画面で変更することができます。詳細につきましては、5.3.2. ユーザー名とパスワードの変更をご覧ください。

・ユーザー名とパスワードはともに大文字と小文字を識別します。

6.2. 管理画面からのログアウトの方法

1. 管理画面の[ログアウト]のタブをクリックするとログアウトのページが表示されます。
2. [はい]ボタンをクリックして、ログアウトしてください。
3. 管理画面からログアウトします。

6.3. 受信機の設定方法

管理画面にログインすることにより、スクリーンビームプロ・ビジネスの設定が可能です。

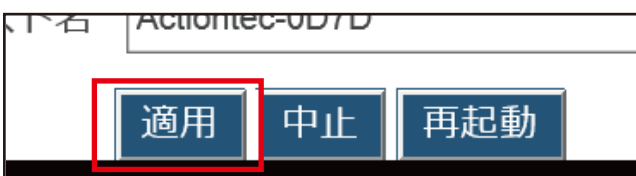
6.3.1. 受信機名の変更方法

以下の手順に従って、受信機名を変更してください。

1. 管理画面の[デバイス設定]のタブをクリックするとデバイス設定のページが表示されます。

2. デバイス設定画面にある[機器名へアクセス]では、[有効]を選択してください。

3. [機器名]に、新しい受信機の名前を入力してください。
   アポストロフィ(‘)、ダッシュ(-)、クオテーションマーク(“)は使うことはできません。

4. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.2. ユーザー名とパスワードの変更

管理画面では、ログインするユーザー名とパスワードを変更することができます。

以下の手順に従って、管理画面のユーザー名とパスワードを変更してください。

1. 管理画面の[デバイス設定]のタブをクリックすると、デバイス設定のページが表示されます。

2. [管理者ユーザーネーム]に新しいユーザー名を、[管理者パスワード]に新しいパスワードを入力してください。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.3. 言語設定

以下の手順で、受信機の表示言語が設定できます。

1. 管理画面の[デバイス設定]のタブをクリックするとデバイス設定のページが表示されます。
2. ページ内の[表示言語]のドロップダウンメニューから、希望の言語を選択してください。
   現在、選択できる言語は、簡体中国語、繁体中国語、オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、韓国語、スペイン語です。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.4. ミーティングマネジメントの設定方法

ミーティングマネジメントとは、会議参加者がワイヤレスディスプレイを交互に利用したり、進行役の人が会議参加者から表示の要求を受けてからすぐに画面を切り替えることが できる機能です。

ミーティングマネジメントは、Intel® Pro WiDiを使って、受信機のAGOが起動している場合にのみ利用できます。ミーティングマネジメント機能の詳細については、取扱説明書(基本編)“4.1. インテル® Pro WiDi とミーティングマネージメントについて”をご覧ください。

以下の手順に従って、受信機のミーティングマネジメント機能の[有効/無効]を設定してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. [ミーティングマネージメント]の[利用/停止]のいずれかを選択してください。

3. より安定した接続を得るには、ミーティングマネジメント用の専用ポート(ミーティングマネージメントポート)を設定することができます。

4. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

5. 受信機が再起動したら、新しい設定が有効となります。

6.3.5. PIN設定

セキュリティ確保のために、スクリーンビームプロ・ビジネスを利用の際は PIN コードを使って接続することを推奨します。管理画面からPIN コード接続を選択することができます。

以下の手順に従って、受信機の PIN コードによる接続設定をしてください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能設定のページが表示されます。

2. [最初の接続時にPINペアリングを実施]項目の[オン]または[オフ]のいずれかを選択します。

・PIN コードによる接続を停止する場合には、[オフ]を選択してください。
ただし、送信機と受信機とがはじめて接続される際は、PIN 認証もしくはPBC暗号化 (Pairing-based cryptography)による接続が行われます。

・PIN コードによる接続を有効にするには、[オン]を選択してください。この場合、受信機に初めて接続する機器には PIN コードの入力が必要となります。この機能が有効場合には、システムはランダムと固定という 2 種類の PIN コードを生成する方法が設定できます。

＊注 :一部のワイヤレスディスプレイ送信機では､PIN コード入力による接続をサポ ートしていないため､このモードを有効にしても接続できないことがあります。PIN 接続を有効にするためには、送信機のユーザーマニュアルをご確認ください。

・ランダム： HDTV/プロジェクターの画面上に、受信機がランダムに生成した PIN コードが表示されます。

・固定: ユーザーが設定した 7 桁の数字に加え、8 桁目を受信機が生成し、計 8 桁の PIN コードを生成します。[固定]の覧に 7 桁の数字を入力し、[適用]ボタンをクリックしてください。受信機が 生成した 8 桁目を含んだ PIN コードが[固定 PIN]欄に表示されます。この PIN コードは表示画面上には現れません。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

＊注 : [固定] を選択した場合には、[固定 PIN] 欄に表示された PIN コードを事前に確認し、メモを取るなどしてから、[OK] ボタンを押すようにしてください。

4. 受信機が再起動したら、新たな設定が有効となります。

6.3.6. HDMI/VGA 端子の電源設定

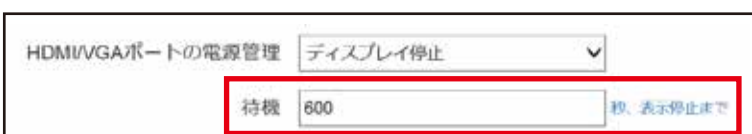
[HDMI/VGA ポートの電源管理]機能では、HDMI 出力ポートの電源をコントロールすることができます。

以下の手順に従って設定してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2.[HDMI/VGA ポートの電源管理]欄のドロップダウンメニューから、ご希望のモードを選択してください。

・常時オン: このモードを選択すると、HDMI 出力は常にオンの状態となります。

・スクリーンセーバー: このモードを選択すると、一定の待機時間経過後に、スクリーンセーバーが起動します。[待機]時間欄で、任意の待機時間を設定することができます。

＊注 : 待機時間は 5~9,999 秒の範囲で設定することができます。

・HDMI Off : このモードを選択すると、一定の待機時間経過後にHDMI 出力は停止します。
[Wait]時間欄で、待機時間を設定することができます。

＊注 : 5~9,999 秒の範囲で設定することができます。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.7. WiDi ローバンド幅の設定

WiDi ローバンド設定では、映像の質とスピードをコントロールします。
以下の手順に従って、受信機の WiDi ローバンドを設定してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. [WiDi Lower バンド幅]欄の[有効]、[無効]のいずれかを選択してください。

・有効 : WiDi の無線帯域幅を制限します。有効にすることで、混雑したネットワーク環境でも、
動画が比較的スムーズに再生されます。
・無効 : WiDi の無線帯域幅を制限しません。混雑していないネットワーク環境では動画の画質
向上が期待できます。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.8. RTSP M3(Real Time Streaming Protocol)での Force EDID (Extended Display Identification Data)設定

EDID(サポートしている解像度データ)とは、デジタル表示規格よって規定されたデータ構造であり、ビデオ出力機器(例:グラフィックス、セットトップボックス)に格納されています。最近のPCでは、どのような種類(解像度)のモニターが接続されているかを認知することができますが、表示機器から送られてきた EDID データ(解像度)と、スクリーンビームプロ・ビジネスがサポートする解像度とが互換性がない場合には、映像が歪んだり画面が白くなって表示がブランクなる可能性があります。

[Force EDID at RTSP M3]機能とは、EDID データからの情報を無効にし、1080p/i の解像度のデータを出力します。

以下の手順に従って、Force EDID at RTSP M3 を設定してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. 利用方法に応じて、[Force EDID at RTSP M3]欄の[有効]、[無効]のいずれかを選択してください。

・有効 : EDID データは無効になります。
受信機のビデオ出力解像度は 1080p/i に設定されます。

・無効 : EDID データを使って、受信機から出力する解像度を決定します。
一般的には、表示機器がサポートできる受信機の最大解像度が設定されます。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.9. HDCP 暗号化の設定

HDCP 暗号化はほとんどの表示機器によってサポートされており、一部の機器ではサポート必須となる場合があります。この機能を無効にすることにより、相互利用の際のビデオ表 示性能が向上する場合があります。また、設定方法によっては、一部の HDMI スイッチと HDCP 暗号化に問題が発生する場合があります。本機能は互換性に問題が発生した場合に利用します。

以下の手順に従って、受信機の HDCP 暗号化を設定してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. 利用方法に応じて、[HDCP の暗号化]のプルダウンメニューから[有効]、[無効]のいずれかを選択してください。

警告：ご使用の表示機器がHDCP 暗号化機能をサポートしている場合にのみ無効に設定できます。

・無効：HDCP 暗号化を無効にすると、接続スピードと互換性が向上しますが、HDCPで保護されたメディアの再生はできなくなります。

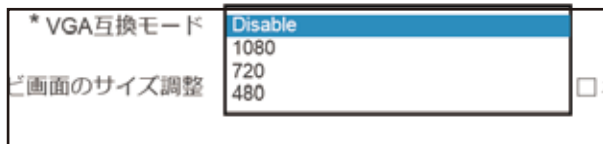
・デモモード：予備

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

4. 受信機が再起動したら、新たな設定が有効となります。

6.3.10. VGA 互換モードの設定

以下の手順に従って、VGA 互換モードを選択してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. [VGA 互換モード]のプルダウンメニューから、ご希望のモードを選んでください。
   選択メニューは無効、1080、720、480 の4種類があります。
   ・無効 : ビデオ出力は、送信機の設定に合わせて表示されます。
   ・1080 : ビデオ出力は、使用する表示機器に応じて、1080pもしくは1080iに設定されます。
   ・720 : ビデオ出力は、使用する表示機器に応じて、720pもしくは720iに設定されます。
   ・480 : 480Pもしくは480iに設定されています。

＊注 : HDMI-CEC が起動している場合には、VGA 互換モードは利用できません。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.11. USB ローカルアクセスの設定

スクリーンビームプロ・ビジネスには、いくつかの用途で利用できる USB ポートを搭載しています。USB ポートは、管理画面から設定することができます。

以下の手順に従って、USB ポートの設定をしてください。

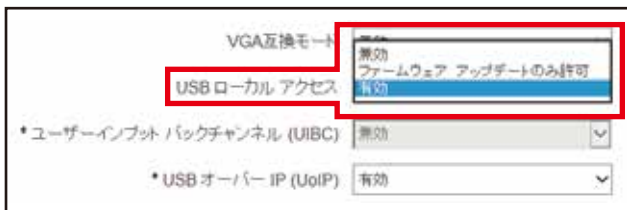
1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. 実際のご利用状況に合わせて、[USB ローカルアクセス]欄のプルダウンメニューを選択してください。選択メニューは、無効、ファームウェアの更新のみ許可、有効の3種類があります。

・無効：“無効”を選択すると、受信機の USB ポートを使ったローカルアクセスは無効になります。

・ファームウエアの受信のみ許可：“ ファームウエアの更新”を選択すると、USB ポートを使ったファームウエアの更新だけを可能にします。

・有効：“有効”を選択すると USB ポートの全機能を使用できるようになります。
有効にすると、ファームウエアの更新の他、キーボードやマウスなどの USB 周辺機器を受信機の USB ポートにつないで利用できる、USBバックチャンネルを利用することができます。USBバックチャンネルには、User Input Back Channel(UIBC)もしくは USB over IP(UoIP)機　能があります。

・UIBCでは、接続されたキーボートあるいはマウスは、コンボキーあるいはマウスの右クリック機能をサポートしません。

＊注：UoIP は、インテル ® WiDi のみ利用できます。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.12. 表示画面サイズの調整

画面の上下や両端が見えなかったり、黒い淵が画面に出ている場合は、表示サイズを調整することができます。(オーバースキャン)

下記の手順に従って、表示画面のサイズを調整してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. [表示サイズ(オーバースキャン設定)]欄のプルダウンメニューからご希望の値を選択してください。

・表示サイズは 0~25 まで選択可能です。値が大きくなるほど、表示サイズが拡大します。

・[オーバースキャン値の上書を送信機器側で承認]オプションを選択(チェックボックスをチェック)すると、表示サイズが送信機器側の設定となります。選択しない場合には、オーバースキャン値は受信機側の設定となります。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.13. アスペクト比の出力設定方法

アスペクト比率の相違により、表示が合わない場合には、画面にあったアスペクト比を設定することができます。

以下の手順に従って、アスペクト比を合わせてください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. [アスペクト比]欄のドロップダウンメニューから、適切なアスペクト比を選択してください。4:3 をお選びいただきますと、水平値と垂直地を微調整することができます。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.14. ワンタッチプレイ(HDMI-CEC モード)の設定方法

以下の手順に従って、受信機のワンタッチプレイ(HDMI-CEC)を設定してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. [ワンタッチプレイ (HDMI-CEC)]欄に進み、ワンタッチプレイ機能を[オン]もしくは[オフ]に設定してください。

ワンタッチプレイ (HDMI-CEC)　○オン　◉オフ

選択肢は[オン]、[オフ]の 2 種類です。本機能が起動すると、受信機は接続した表示機器 を起動し、受信機が接続しているチャンネル画面を表示します。 表示機器は下記の場合に起動します。

a. 受信機に電源が入った時

b. 受信機がワイヤレスディスプレイ接続を確立した時

c. 電源が入った受信機と表示機器をケーブルで接続した時

＊注：本機能は、HDMI-CEC モードをサポートしている表示機器でのみ利用できます。

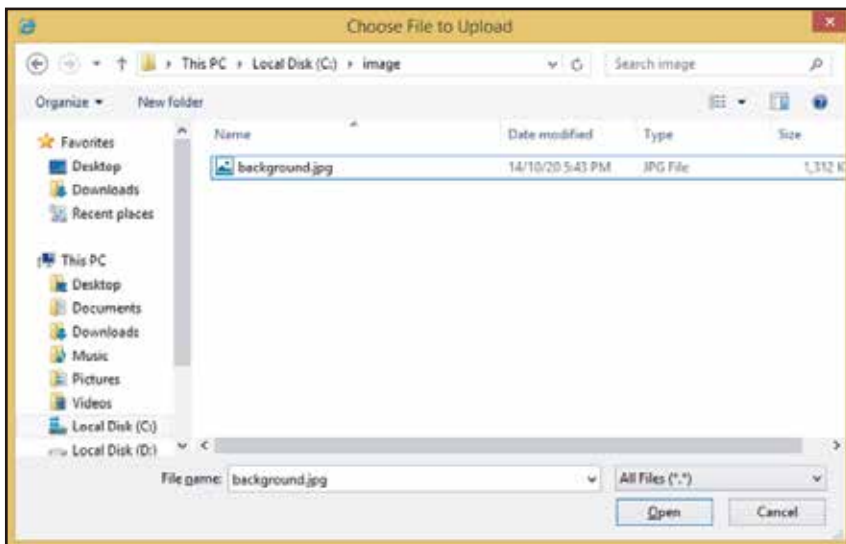
3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.15. 背景画像の変更

以下の手順に従って、受信機の待ち受け画面の背景画像を変更してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2 .[背景画像]欄の[ブラウズ]ボタンをクリックしてください。

3. [アップロードするファイルを選択]というウィンドウが現れますので、背景画像に使用するファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックしてください。

＊注：　・使用できるファイルの種類は、.png もしくは .jpeg/.jpg 形式となります。
　　　　・使用できるファイルのサイズは、2.5MB 未満となります。
　　　　・推奨サイズは、1280x720 ピクセル (横 x 縦) となります。

4. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

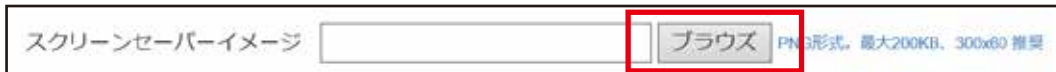
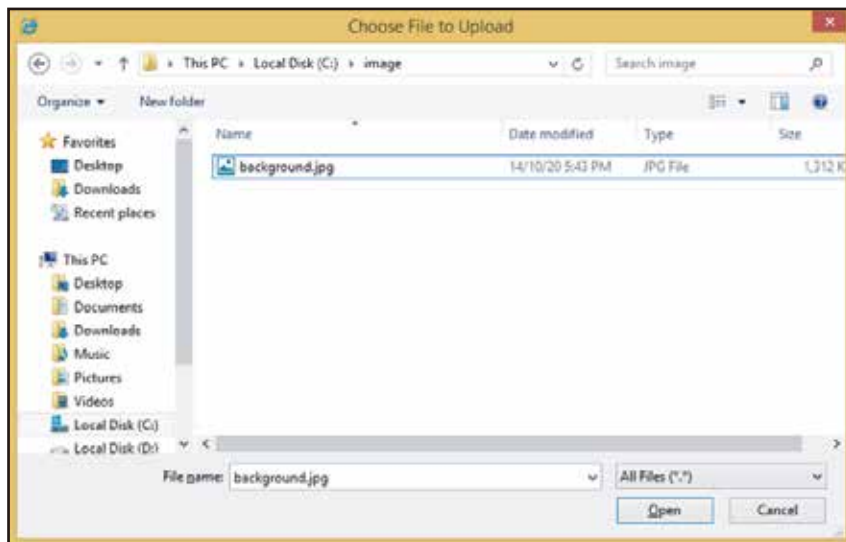
5. 確認メッセージが現れますので、[OK]ボタンを押してください。

6. 背景画像が変更されますので、接続した表示機器でご確認ください。

6.3.16. スクリーンセーバーの画像の設定

以下の手順に従って、受信機のスクリーンセーバー画像が変更できます。

1． 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能のページが表示されます。

2. [スクリーンセーバーイメージ]欄横の[ブラウズ]ボタンをクリックしてください。

3 . [アップロードするファイルを選択]というウィンドウが現れますので、スクリーンセーバーに使用する画像ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックしてください。

＊注： ・使用できるファイルの種類は、.png 形式のみ。
・使用できるファイルのサイズは、200KB 未満。
・画像サイズの推奨は、300x60 (横 x 縦) ピクセル。

4. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

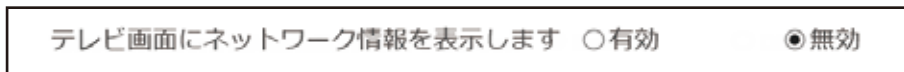
5. 確認メッセージが現れますので、[OK]ボタンを押してください。

6. スクリーンセーバー画像が変更されますので、接続した表示機器でご確認ください。

6.3.17. ネットワーク情報の表示

以下の手順に従って、ネットワーク情報を TV 画面上に表示することができます。

1. [ローカル管理]タブをクリックして、[ネットワーク設定]ページに進んでください。

2. [テレビ画面にネットワーク情報を表示します。]欄の[有効]もしくは[無効]のどちらかを選択してください。

＊注 : デフォルトでは、[無効] に設定されています。ネットワーク情報は画面に表示されません。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。
本機能が有効になると、ネットワーク情報が TV 画面上に表示されます。

6.3.18. Autonomous グループオーナー(AGO)の設定方法

Autonomous グループオーナー機能を有効にすると、受信機はP2P接続においてはグループオーナーにすることができます。この場合、利用する通信チャンネルは、受信機が選択できるようになります。WiFi P2P ネットワークグループでは、グループオーナーがアクセスポイントとして動作し、他の接続機器はすべてクライアントになります。ミーティングマネジメント機能(インテル®ProWiDi)を利用する際は、AGOが必ず有効であることを確認してください。

＊注 : 初期設定は、[有効] に設定されています。

下記の手順で、受信機のAGO機能を設定します。

1. [ローカル管理]のタブをクリックすると、ネットワーク設定機能のページが表示されます。

2. [Autonomous グループオーナー(AGO)]欄で[有効]もしくは[無効]のどちらかを選択してください。

選択肢は[有効]と[無効]の 2 種類のみです。

・[有効] : 受信機がグループオーナーになります。通信チャネルは受信機で選択できるようになるとともに、ミーティングマネジメント機能が有効になります。

・[無効] : 通信チャネルは送信機器側と一致、もしくは受信機と接続している機器の間の接続時に決定されます。その場合、ミーティングマネジメント機能は使用できません。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

4. ネットワーク情報表示機能が有効になると、ネットワーク情報が TV 画面上に表示されます。

6.3.19. 通信チャネルの設定方法

AGO が起動中、ワイヤレスディスプレイ受信機と送信機器の間で使用する任意の通信チャネルを設定することができます。

以下に従って、受信機の通信チャネルを設定してください。

1. 管理画面の[ネットワーク設定]のタブをクリックするとネットワーク設定機能のページ が表示されます。

2. [チャネル番号]欄に進み、ドロップダウンメニューからご希望の番号を選択してください。[チャンネル番号]欄のドロップダウンメニューから利用するチャンネル番号を選択してください。チャンネル番号 1~11 は 2.4GHz 帯に属し、チャネル番号 36~165 は 5GHz 帯に属します。接続環境に合わせてチャンネルを選択してください。利用機器が少ないチャネルを選ぶと感度が高くなり接続性がより安定します。WiFi アナライザーなどを利用することで、空いているチャンネルを見つけることができます。

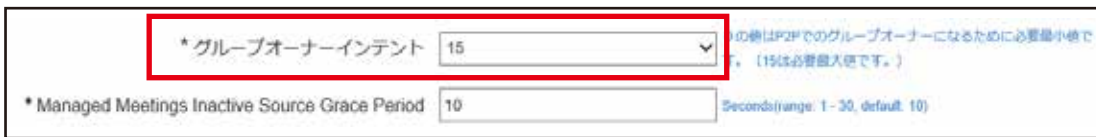
3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]をクリックしてください。

6.3.20. グループオーナーインテント設定

AGO 機能が無効の場合は、グループオーナーインテント機能を利用します。 グループオーナーインテント機能を使うことで、接続機器(受信機あるいは送信機器)のどちらをグループオーナーにするか設定することができます。

手順に従って、受信機のグループオーナーインテントを設定してください。

1. 管理画面の[機能]のタブをクリックすると機能設定ページが表示されます。

2. [グループオーナーインテント]欄のドロップダウンメニューからご希望の値を選択してください。

＊注：大きい値を選択するほど、受信機がグループオーナーになる確率が高まります。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]をクリックしてください。

4. 受信機が再起動したら、新しい設定が有効となります。

6.3.21. P2P ネットワークパラメーターの設定

AGO が有効の際、P2P ワイヤレスネットワーク名(SSID)、パスワード、IPアドレス、サブネットマスク、DHCPのIPアドレス範囲など、ピアツーピア接続システム用の接続パラメーターを設定することできます。 ミーティングマネジメント機能をご利用する場合には、これらパラメーターの設定が必要です。送信機が受信機に接続すると、受信機は送信機にIPアドレスを割り当てます。割り当てられた IP アドレスは本項で設定したパラメーターにより決定されます。

以下の手順に従って、受信機の P2P ネットワークパラメーターを設定してください。

1. 管理画面の[ネットワーク設定]のタブをクリックするとネットワーク設定機能のページが表示されます。

2. [ワイヤレスインターフェイス設定]欄の各ネットワークパラメーターを入力してください。

・[P2P ワイヤレスネットワーク名 (SSID)] と [P2P ワイヤレスネットワークパスワー ド]

：設定済み

・[P2P IP アドレス] : ピアツーピア接続時の受信機の IP アドレスとなります。

この IP アドレスは、[機器の接続を待っています] の画面下部に表示されます。

AGO 有効中に、管理画面にアクセスするために使用されます。

＊注 : [P2P IP アドレス] は、[P2P DHCP IP Start] と [P2P DHCP IP End] で設定した範 囲外に設定にしてください。

・[P2P サブネットマスク] :

ピアツーピア接続で確立されたネットワーク用のサブネットマスクです。

・[P2P DHCP IP Start]および[P2P DHCP IP End] :

接続される機器に割り当てられる IP アドレスの範囲です。

＊注 : 上述のネットワークパラメーターは AGO 起動中に作動します。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]をクリックしてください。

4. 受信機が再起動したら、新しい設定が有効となります。

6.3.22. ワイヤレスネットワークパラメーターの設定

AGO が無効の際には、ワイヤレスネットワーク名(SSID)、パスワード、IP アドレス、サブネットマスク、DHCP の IP アドレス範囲など、ワイヤレスネットワークパラメーターを設定することができます。

以下の手順に従って、受信機のワイヤレスネットワークパラメーターを設定してください。

1. 管理画面の[ネットワーク設定]のタブをクリックするとネットワーク設定機能のページが表示されます。

2. [ワイヤレスインターフェイス設定]欄の、ネットワークパラメーターの設定を行ってください。

・[ワイヤレスネットワーク名(SSID)]と[ワイヤレスネットワークパスワード] : 受信機のワイヤレスネットワークにアクセスする際の SSID とパスワードです。SSID は AGO が無効の場合に表示されます。

・[ワイヤレスIPアドレス] : 管理画面にアクセスするために使用されます。このIPアドレスは、[機器の接続を待っています]の画面下部に表示されます。AGO が無効な場合 に、管理画面にアクセスするために利用します。

＊注 : [ワイヤレス IP アドレス] は、[ワイヤレス DHCP IP Start] と [ワイヤレス DHCP IP End] で設定した範囲外に設定してください。

・[ワイヤレスサブネットマスク]：受信機のネットワーク用のサブネットマスクです。
・[ワイヤレス DHCP IP Start]および[ワイヤレス DHCP IP End]：接続された機器に割り当てられた IP アドレスの範囲を設定します。

＊注：上述のネットワークパラメーターは AGO が無効な場合に作動します。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]をクリックしてください。

4. 受信機が再起動したら、新しい設定が有効となります。

6.3.23. 受信機のワイヤレスネットワーク名(SSID)の変更

AGO が無効な時に、受信機のワイヤレス名(SSID)を変更することができます。

以下の手順に従って、受信機の SSID を変更してください。

1. 管理画面の[ネットワーク設定]のタブをクリックするとネットワーク設定機能のページが表示されます。

2. [ワイヤレスネットワーク名]と[ワイヤレスネットワークパスワード]欄に進み、テキストボックスに新しい[ワイヤレスネットワーク名]と[ワイヤレスネットワークパスワード]を入力してください。ネットワークパラメーターを設定してください。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

4. 受信機が再起動したら、新しい設定が有効となります。

6.3.24. ブロードキャストのネットワーク名の変更

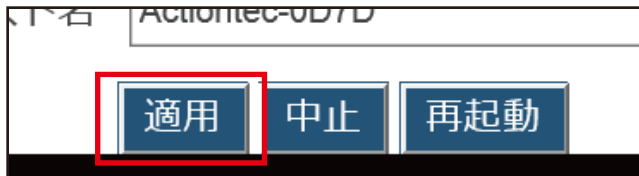
以下の手順に従って、受信機のブロードキャストのネットワーク名を変更してください。

1. 管理画面の[ネットワーク設定]のタブをクリックするとネットワーク設定機能のページが表示されます。

ブロードキャストネットワーク名　○有効　◉無効

2. [ブロードキャストネットワーク名]機能の有効/無効を設定するためには、ワイヤレスインターフェースセッティングのブロードキャストネットワーク名で選んでください。

＊注：デフォルトでは、ブロードキャストネットワーク名の機能は無効になっています。本機能が無効の場合は、受信機の SSID はブロードキャストされませんので。マニュアル設定で接続を行ってください。詳細は、5.1.2.2 の SSID ブロードキャストが 停止中の場合をご覧ください。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]をクリックしてください。

4. 受信機が再起動したら、新しい設定が有効となります。

6.3.25. ワイヤレス接続プロパティの設定方法

スクリーンビームプロ・ビジネスでは、オプションのスクリーンビーム CMS WiFi アダプ ターを使って無線ネットワークに接続することができます。接続を開始する前に、無線接続 パラメーターの設定を行ってください。

以下の手順に従って、受信機のワイヤレス接続プロパティを変更してください。

1. 管理画面の[リモート管理]のタブをクリックするとリモート管理設定ページが表示されます。

2. [ワイヤレス接続プロパティ設定]欄に進み、個々の要件に従ってパラメーターを設定してください。

ワイヤレス接続設定:
ネットワーク名
セキュリティタイプ オープン
ステータス ScreenBeam CMS WLANアダプターが見つかりません

・ネットワーク名 : ワイヤレスルーターの SSID。(アクセスポイント)

・セキュリティタイプ : ご使用のワイヤレスルーターで設定したセキュリティタイプを選んでください。セキュリティタイプは Open、Shared、WPA-PSK[TKIP]、WPA- PSK[AES] 、WPA-PSK [TKIP]+WPA2-PSK[AES]、PEAP/MSCHAPV2、EAP-TLS が 使用できます。

・ステータス : 接続の状況を表示します。

Shared、WPA-PSK[TKIP]、WPA-PSK[AES] 、WPA-PSK[TKIP]+WPA2-PSK[AES]を選択した場合には、以下のとおり設定してください。

・ユーザー名 : なし

・パスワード : ワイヤレス SSID 用に事前に入手したパスワード

PEAP/MSCHAPV2 を選択した場合には、以下の通り設定してください。

・ユーザー名 : RADIUS サーバーによる認証システムのために入力が必要です。
RADIUS アカウントのユーザー名です。

・パスワード : RADIUS アカウントのパスワードです。

EAP-TLS を選択した場合には、下記のアイテムが利用可能です。

・ユーザー名 : ユーザー・プリンシパル名もしくは、必要に応じて RADIUS アイデンティティになります。

＊注 : ユーザー名には、A~Z までのアルファベット (大文字、小文字)、0~9 までの数 字、@、.(ピリオド)、_(アンダーバー) を使用することができます。

・パスワード : プライベートキーのパスワードです。

・システムの日時 : 受信機の日時を設定する際に利用します。
認証の有効期間に従って、日時を設定してください。

・CA 証明書 : ルート証明書です。
[ブラウズ]ボタンをクリックして、証明書を追加してください。

・ユーザー証明書 : ユーザー証明書です。
[ブラウズ]ボタンをクリックして、証明書を追加してください。

・プライベートキー : ユーザーのプライベートキーです。
[閲覧]ボタンをクリックして、 証明書を追加してください。
・有効期限 : 各証明書の有効期間を表示します。

＊注 : ・現時点サポートしている証明書は .pem 形式のみで、DER エンコードバイナリー X.509 方式を使用して作成された証明書でなければなりません。
・証明書のファイル名の長さは 64 バイト未満とし、ファイルサイズは 100KB 以下と してください。
・上述の 3 つの証明書が確認のために必要となります。
・それぞれ正しい証明書を選択してください。

3. [接続]ボタンをクリックすると、アダプターがワイヤレスルーター(アクセスポイント) への接続を開始します。

＊注 : ・受信機が [機器の接続を待っています] の状態で、CMS WiFi アダプターを使ってネットワークに接続してください。
・CMS WiFi アダプターは、ご使用のネットワーク環境によっては、接続に時間がかか る場合があります。

6.3.26. 受信機の IP アドレス設定方法

以下の手順に従って、受信機のIPアドレスを設定してください。

1. 管理画面の[リモート管理]のタブをクリックするとリモート管理の設定ページが表示されます。

[TCP/IP 設定]欄の[IP ポリシー]で[自動]もしくは[固定]のどちらかを選んでください。
・[自動] : 受信機のIPアドレスは、DHCP サーバーにより割り当てられます。
・[固定] : 受信機のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定できます。[固定]を選択した場合には、DNS サーバーの設定もできます。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.27. 受信機用 DNS サーバーの設定

以下の手順に従って、受信機用 DNS サーバーの捜索してください。

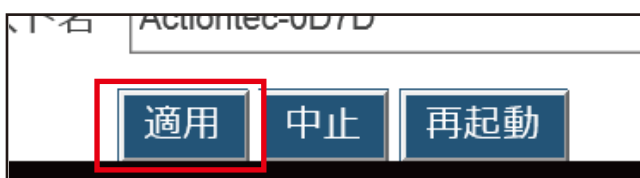
1. 管理画面の[リモート管理]のタブをクリックするとリモート管理の設定ページが表示されます。

2. [TCP/IP 設定]欄に進んで、[DNS ポリシー]を[自動]もしくは[固定]から選択してください。

・[自動] : 受信機は DNS サーバーを自動的に割り当てられます。

・[固定] : 受信機用の DNS サーバーを手動で設定します。

[固定]を選択すると、DNS サーバーの設定が必須になります。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.28. 受信機用スクリーンビーム CMS の設定

スクリーンビームプロ・ビジネスでは、オプションにてスクリーンビームセントラルマネージメントシステム(CMS)が利用できます。

＊注 : スクリーンビームセントラルマネージメントシステム (CMS) の使い方については､別紙のセントラルマネージメントシステム (CMS) 取扱説明書をご覧ください。

以下の手順に従って、受信機用スクリーンビームCMS(セントラルマネジメントシステム)を設定してください。

1. 管理画面の[リモート管理]のタブをクリックするとリモート管理の設定ページが表示されます。

2. [セントラルマネジメントシステム設定]欄の[CMS ホスト]および[CMS ポート]を入力してください。

・[CMS ホスト] : IP アドレスまたは、スクリーンビーム CMS サーバーの FQDN、ホスト名、ドメイン名、エイリアス名(DNS サーバーおよび DHCP サ ーバーが適切に設定されている場合)となります。

＊注 : DNS 設定を使用することを推奨します。

・[CMS ポート] : スクリーンビーム CMS との通信ポートになります。

マネージメントシステム設定のキャンセル:

CMS ホスト 192.168.3.14 IP, ドメインやホストネームを入力

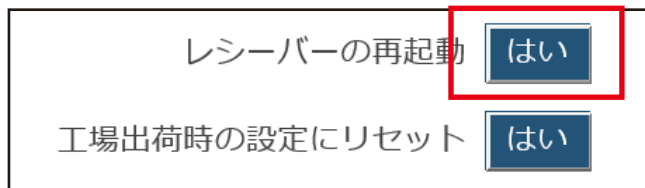
CMS ポート 7237 ポート番号の入力(値: 5000から65535, デフォルト: 7237)

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

5.3.29. 受信機を再起動する方法

以下の手順に従って、受信機を再起動することができます。

1. 管理画面の[メンテナンス]のタブをクリックするとメンテナンスの設定ページが表示されます。

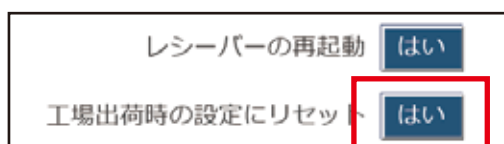
2. [レシーバーの再起動]の [はい]をクリックしてください。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

6.3.30. 工場出荷状態(デフォルト)へ戻す

以下の手順に従って、受信機を工場出荷時の状態に戻すことができます。

＊注 : 工場出荷時の状態へ戻した場合、表示画面は英語表記になります。日本語へ変更する場合には、管理画面から再設定が必要です。

1. 管理画面の[メンテナンス]のタブをクリックするとメンテナンスの設定ページが表示されます。

2. [工場出荷時の設定にリセット]の[はい]をクリックしてください。

3. [適用]ボタンを選択し、ポップアップウィンドウの[OK]ボタンをクリックしてください。

4. 受信機が再起動したら、新しい設定が有効となります。

＊注 : 受信機本体の [リセット] ボタンを押しても、受信機を工場出荷時の状態にリセットすることができます。
手順は以下の通りです。

1. 受信機の電源を入れ、[機器の接続を待っています。] の画面が表示されます。
2. 受信機の [リセット] ボタンを先の尖ったもので押してください。
3. [工場出荷状態に戻します] の表示が画面に現れるまで、そのまま [リセット] ボタンを押し続けてください。(表示が現れたらリセットボタンから離してください。) 受信機が再起動したら、工場出荷時の状態で作動します。

Actiontec Electronics inc 日本オフィス

Eメール：japan-sales@actiontec.com

URL：http://japan.actiontec.com